

## 市民の声への回答(H30.8月受付分)

受付	受付区分	種類	担当課	件名	受信内容	回答
				住所・氏名・電話		
8月7日	電話	苦情	総務課	職員の窓口での対応について	<p>職員の窓口における対応が悪い。 8月7日8時30分頃、窓口を訪れた。職員からの挨拶はなく、こちらから声をかけると、「何しにきた」と言われた。 対応について、その場で指摘したが、「文句があるなら市民の声に電話してくれ」と言われた。 自分より若い者に指摘されて頭にきたのかもしれないが、このような対応をしているようでは、若い職員や民間の会社の方がしっかりしている。</p>	<p>この度は、職員の不適切な対応で不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。 本人に事実関係を確認をしたところ、若干の相違はあるものの、来庁者とトラブルがあったことは事実であり、心よりお詫び申し上げます。 市としては、市民に親しまれる対応に努めるよう、職員教育を行っているところであり、特に挨拶の励行を徹底しています。 改めて、職員のサービス向上に取り組んでいきますので、ご理解願います。 なお、対応に当たった職員については、厳重注意としました。</p>
				-		
8月10日	メール	問い合わせ	教育総務課	滝根町のこども園	<p>こども園は、いつでkinですか？</p>	<p>滝根町のこども園については、施設の老朽化や耐震上の課題から、滝根幼稚園を滝根保育所の敷地へ改築し、来年度からこども園とする計画で進めていましたが、現在、他の空き施設の有効活用も含め、改築以外での整備についても検討しているところです。内容が固まりましたら、開設時期などを関係者に説明していきます。</p>
				-		

## 市民の声への回答(H30.8月受付分)

受付	受付区分	種類	担当課	件名	受信内容	回答
				住所・氏名・電話		
8月16日	メール	意見	財政課	ふるさと納税の推進について	<p>市政だより6月号にも財政健全化に向けてふるさと納税の推進とありましたが、具体的に何をどうやって推進するのでしょうか。</p> <p>例えば、返礼品の充実を図るために、商工農業各団体や田村市の各企業に、ふるさと納税の返礼品に御社の商品を載せませんか、と言った声がけ、つまり営業活動のような行動をしているのでしょうか？それに伴う、新規掲載返礼品数の数値目標を設定しているのでしょうか？</p> <p>また、ふるさと納税による獲得件数と金額に目標を設定しているのでしょうか？</p> <p>このような数字を伴った目標が明確に設定されていない状態で推進という言葉を使うならば、全く意味のないことかと思えますし、財政健全化はまずもって無理なことかと思えます。</p> <p>また、意見をしている私も田村市で生まれ育った者ですが、正直申し上げまして、ふるさと納税を利用し他自治体のブランド牛肉などを取り寄せています。</p> <p>「『田村市がふるさと』と思ってもらえるよう」という表現を市政だよりでも行っていますが、愛郷心でふるさと納税を利用する方も確かにいらっしゃいますが、</p> <p>ふるさと納税で歳入を獲得できている自治体は、愛郷心よりも返礼品の商品力に魅力があるからではないでしょうか。</p> <p>実際に私がふるさと納税を利用するのも、返礼品の品物に私のニーズに合うものがあるからです。</p> <p>ふるさと納税を利用した他自治体に対して愛郷心はありません。</p> <p>愛郷心に訴えるよりも、返礼品の商品そのものを増やすことで、利用者の選択肢を増やし、歳入の獲得のチャンスを広げるという視点で推進するのが現実的だと思います。</p> <p>ふるさと納税を利用する側の視点にたった商品ラインナップの充実が歳入獲得には必要かと思えます。</p> <p>少なくとも田村市内の事業者さんにとっては、売上げアップの可能性があり、市役所さんとしても歳入獲得のチャンスがあるウインウインな話です。</p> <p>財政健全化に向けて、歳入を増やす数少ない施策ですので、市役所さん側で市内の事業者さんへ積極的に声がけすべきかと思えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、税外収入の確保と市の特産品を広くPRすることを目的として、平成26年10月から返礼品の取り扱いを始めました。また、平成28年度に民間ふるさと納税サイトの利用を開始し、寄附金額は前年比で約3.5倍の19,138,000円、受付件数も4.1倍の733件となりました。今後さらに寄附件数を増やすためには、返礼品数を増やすことは有用な方法であると考えています。</p> <p>現在、定期的に事業者へのお声がけは行っていますが、これから年末に向けて寄附される方の関心が高まる時期になりますので、市内の各商工会への周知を含め営業活動を行うとともに、市ホームページへの募集記事掲載など返礼品取扱事業者の新規開拓に一層力を入れていきます。取扱返礼品数につきましても、100品まで増やすことを目標に充実を図ります。市の財政健全化、事業者の売上アップと双方がウインウインとなるよう魅力ある納税制度の構築に努めます。</p> <p>また、本年度ふるさと納税件数1,500件、寄附額3,000万円を目標として、寄附者への効果的な情報発信や返礼品の魅せ方など、マーケティングのプロである民間のアドバイザーと定期的に意見交換を行うとともに、PRを含めふるさと納税事務についても実績のある事業者に外部委託を行うよう現在準備を進めています。</p> <p>ふるさと納税の寄附額を増やしていく、また安定的に獲得するためには、積極的なPRによる新たな寄附者の確保とあわせ、これまで田村市を応援してくださっている方々との繋がりがりも重要だと考えています。寄附金の使い道や新たな返礼品を紹介するなど定期的な働きかけを行うことにより、継続的に応援いただけるよう取り組みます。</p>
				-	-	
8月21日	メール	問い合わせ	観光交流課 総務課	田村市滝根観光振興公社のブルーベリーなどの栽培について⑤	<p>8月10日の田村市のHPでの市民の声への回答(7月回答分)の受信内容の記載ですが、こちらが問い合わせた7月3日と7月13日の質問等の内容がかなりの箇所を意図的に削除され掲載されています。また7月13日受付の【観光交流課及び総務課秘書広報係の回答】ですが7月23日に市から頂いた回答と比較し、かなりの箇所を削除と文章を付け加えたりした箇所があります。こちらは頂いた回答を元に質問や意見を述べています。</p> <p>意図的に情報操作し改ざんし公の場で公表するのはいかがでしょうか。公務員としてあるまじき行為です。</p> <p>こちらが頂いた回答、質問(受信内容)した同じ内容の文を責任を持って公表してください。</p>	<p>ホームページ上での公表については、「市民の声」に寄せられた意見・要望及びその回答の要旨を掲載することとしています。</p> <p>要旨のまとめ方は、市民生活に直結する事項、市民が関心のある事や公益性が高い事柄はより分かりやすく編集することとしていますが、単なる問い合わせや特定の対象者にのみ関わる案件は内容を省略しています。</p> <p>滝根観光振興公社のブルーベリー等の栽培に関しては、他団体に関するものであること、個人情報を含むものであること、当事者以外に高い関心があるものではないこと、改善や要望を含まない質問であることなどを総合的に判断し、内容を割愛しています</p>
				-	-	

## 市民の声への回答(H30.8月受付分)

受付	受付区分	種類	担当課	件名	受信内容	回答
				住所・氏名・電話		
8月21日	メール	要望	税務課	市税等の支払い方法について	市税など現在、口座か窓口、コンビニ払いだがクレジット払いを追加してほしい。 分割もできるし、支払いサイトも遅くできるので利便性が高く市税の徴収率も上がり人件費抑制にもつながると思う。	ご提案ありがとうございます。 市税等のクレジット払いについては、納税者に決済手数料が掛かり、さらなる負担となることから、市では現在のところ導入を見送っています。 また、クレジット収納するために、市で使用している税や使用料、会計等のシステム改修の初期費用、カード会社等への手数料をはじめとする維持費用も相当額に及ぶことが懸念されます。参考までに、平成25年に導入したコンビニ収納では、初期費用として231万円、年間の維持費用として、取り扱う件数により金額は変わりますが、平成29年度は140万円を要しています。 県の自動車税のクレジット収納のほか、須賀川市といわき市でも実施していることを把握していますが、自動車税の場合、自動車台数の2%前後の利用となっています。 市としては、他団体での実施状況も参考に、納税者のニーズの高まりを待って実施時期を検討していきます。
				-		
8月27日	メール	問い合わせ	教育総務課	滝根町のこども園 前回回答を受けて	市長が、かわったせいで造らない事になったんですか？	滝根幼稚園で小学校との連携を進めるのは、 ①滝根小学校には教室が全部で12教室ありますが、そのうち、空き教室が今年度は4教室、平成33年度には6教室になる予定で、子どもが幼稚園で過ごすスペースを確保できます。また、小学校の校庭や体育館、図書館など充実した施設・設備を使うことができます。 ②幼稚園から小学校への移行が円滑に進みます。 ③幼稚園児と小学生が交流することで、思いやりや社会性といった、子どもの「生きる力」の基礎を育てることができます。 ④小学校に配置されている外国人英語指導助手を活用し、幼児期から英語に親しむことができます。 といったメリットがあるからです。何といても、幼稚園と小学校の接続・連携によって、子どもたちがより良い教育を受けることができると判断しました。 幼稚園児・小学生の教育環境がそれぞれ確保されるのか心配されると思いますが、共同生活を送るわけではなく、利用する教室を1階と2階に分けるなど、互いの教育環境は確保していきます。 今後も、地元関係者と協議しながら進めていきます。
				-		
8月29日	電話	苦情	総務課	職員の対応について	私は後期高齢者で、重度身体障害2級(足が不自由)。杖をついている。市役所を訪問した際、対応した職員は偉そうで、まるで人を頭から馬鹿にするような態度だった。障害者や高齢者の人権を無視しているように感じた。	不快な思いをさせて申し訳ありません。職員の来庁者に対する姿勢の基本は、まずあいさつして声をかけ、話をよく聞き、要件を把握して担当部署へ案内することです。改めて職員の教育をしっかりと行っていきますので、市役所・職員全体を信用いただき、気軽に来庁してください。
				-		

## 市民の声への回答(H30.8月受付分)

受付	受付区分	種類	担当課	件名	受信内容	回答
				住所・氏名・電話		
8月31日	メール	問い合わせ	観光交流課 総務課	田村市滝根観光振興公社のブルーベリーなどの栽培について ⑥	8月23日の回答を受けて、滝根観光振興公社の運営について改善や要望を含む質問していますが、それについて回答がありません。下記の回答は？ 「改善や要望を含まない質問であることなどを総合的に判断し、内容を割愛しています。」 文章改ざんの理由を「当事者以外に高い関心があるものではないこと、改善や要望を含まない質問であることなどを総合的に判断し、内容を割愛しています。」との回答ですが、これからそうするのであればきちんとHP上の「市民の声の公表」の箇所に文面をきちんと明記してください。	滝根観光振興公社に関する質問については、これまで回答しているとおり、公社自身の事業に関するものですので、市からは回答しません。  市民の声の公表に関しては、以前回答したとおり、他団体に関するものであること、個人情報を含むものであること、当事者以外に関心があるものでないこと、改善や要望を含まない質問であることなどを総合的に判断し、内容を割愛しています。
				-	市長は「もっと田村市をよくしていきたい」という思いで公約でもある「市民の声」を開設したのにこのような事になって残念です。また公約での「徹底した情報公開による公平公正の確保」にも逆行しています。ブルーベリー栽培については観光交流課長が栽培は辞めるとの発言をしていますが、公社は今年も大量の苗木購入して植えています。市民の税金が使われている以上無駄にしない。ただ栽培を辞めますとか単に苗木を廃棄したりせずにきちんと今後どうするか責任をもって進めて頂きたい。	